



佐久市立望月小学校  
学校だより

# 駒の子

令和5年(2023年)

2月13日(月)

(担当：校長)

## 先輩マンガ家の挑戦 ～校長講話から～

協和小の卒業生ですが、昨年「ちばてつや賞」のヤング部門で大賞を受賞した松本文怜さんを右のスライドを使って昨年2月の校長講話で全校に紹介しました。

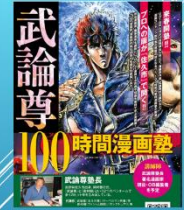
松本さんは大学を出て、働きながら大好きなマンガを描いて雑誌の賞に応募していましたが、なかなか認められず、正社員でもないのに、先が見通せない不安の毎日だったそうです。しかし、武論尊さんが塾長を務めるマンガ塾ができることを知ると

## 4 先輩マンガ家の挑戦

「かっこいいと思う男をえがきたい。」  
でも  
「自分の画力にはまだ納得がいっていない。」  
ひたすら腕を磨き続ける



ヤングマガジンの「リボルバー」掲載ページを手にするマクロ松本さん



夢に向かって  
努力し続ける  
挑戦

### NHKの新春インタビュー



佐久市在住  
漫画家 松本文怜さん

決まりました。そして、NHK テレビの「新春インタビュー」に出演することになったのです。

### 共有問題

松本さんが嬉しいことは何だろう？



### ジャンプ問題

みなさんが学校で嬉しいことは何ですか？

「チャンスだと思って」応募し、第1期生として入ることができました。

そこで学んだことを生かしながら3年間マンガを描き続け、ついに大きな賞をいただいたのです。

その受賞がきっかけになり、今年からはヤングマガジン社の週間連載が



働きながらマンガをかいた

先が見通せない不安

マンガ塾と出会い・学ぶ

チャンスを生かす

その放送録画を先日の校長講話で全校に見せまし

た。そして、そのインタビューの最後が「松本さんが嬉しいことは？」という質問で、松本さんは「読む人がかっこいいとか純粋におもしろいとか思ってもらえたら一番嬉しい」と語りましたので、その言葉を受けてジャンプ問題として「みなさんが学校で嬉しいことは何ですか？」と質問しました。

この校長講話を子どもたちはどう感じたのか・・・感想を紹介します。

佐久市にはこんなにすごい人がいるのだと知らなかったけれど、今日の校長講話で初めて知れた。松本さんが嬉しいのは、みんなが本を読んでくれることだけど、僕が嬉しいのは、みんなと会って、遊べることです。

(4年)



→ 「みんなと会って遊べるのが嬉しい」という思いは友だちにも伝わりますから、友だちも嬉しいことでしょう。

私が嬉しいと思うときは、誰かに何かをしてあげて褒められるときです。私は褒められるということでもいつも思うことがあります。それは、誰かに褒められたいと思いつつながら何かをしてあげるのではなく、その人が「ありがとう」と心の中から思ってくれて褒められたときが、嬉しいと思うときです。

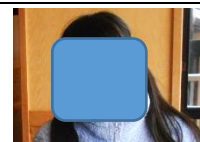
(4年)



→ 褒められて自分が嬉しい時も、褒めてくれた人の気持ちをいつも考えているのですね。

感想は、「努力し続けることで、賞を取れるんだなー」って思いました。ジャンプ問題の答えは、友達と遊ぶことです。その中でも外で鬼ごっこをしたり、ブランコに乗ったりすることが楽しいです。勉強も楽しいです。特に体育の授業が大好きです。

(4年)



→ 努力し続けることの良いさを感じ、また、友だちと遊ぶことが嬉しくなるように学校生活を送っているのですね。

私は、ジャンプ問題のみんなが嬉しいことについて考えました。私が思う**みんなが嬉しいことは、毎日学校に行けて普通の暮らしができることだ**と思います。世の中にはご飯が食べられなかったり学校に行けない人もいます。そんな中で学校に行けることは、とても嬉しいことだと思いました。

(5年)



→ 世の中の苦しい生活をしている人のことも思い、普通の暮らしができることに嬉しさを感じています。

ジャンプ問題の答えは**みんなから信頼されること**と周りのみんなと協力すること、**周りのみんなが嫌な気持ちにならないこと**です。なぜなら僕はこの日にみんなに向かって怒ってしまったからです。その時は「どうして怒ってしまったのか」という事をよく考えていませんでした。だから、**みんなと仲良くなって、みんなから信頼され、またみんなを信用して協力することが僕の目標でもあり学校で一番嬉しいことだ**と思います。

(5年)



→ 自分の行動を見つめ直しながら、「みんなと仲良くなってみんなから信頼され・・・」と目標をもって生活しています。

校長講話の感想は、『日記を書くことは、「生きる力」につながる』ということがわかったから、これからも日記を書き続けていきたい。

先輩漫画家の挑戦で、「**挫折があるかもしれないが、ずっと始まり。**」ということに強く背中を押された。自分も野球や剣道などで挫折があるかもしれないからそういうときは、「ずっと始まり」ということを思って頑張りたい。

ジャンプ問題の答は、**先生に褒められたときや掃除を精一杯頑張ったときにみんなが「ありがとう」と言ってくれたとき**です。

(5年)



→ 日記を書くことは、「生きる力」につながる・・・日記のよさを感じ、これからも書き続けたいと決意しています

・・・私は、学校で楽しいことは**友だちに会って遊んだりたくさん話したいことが一番楽しい**です。私は、友達がたくさんいることはいいことだと思います。なので私は、**六年生になって全校全員と、友だちになれるように**したいです。

松本さんは、漫画家のためにも頑張って、苦労しながらもやっていることがすごいなと思いました。

私も、**松本さんみたいに自分の目標に向かって一つ一つ頑張りたい**です。

(5年)

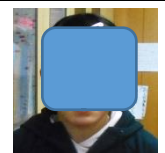


→ 「全校全員と友だちに・・・」と努力しています。また、「自分の目標に向かって・・・」と決意を新たにしています。

私が学校で嬉しいことは、**友達といっぱい喋れること**です。なぜなら家では、家族とかだけしか喋れないけど、**学校では友達と楽しく話すことができるから**です。

他には、松本さんの話を聞いて絵をかくことを諦めずに続けていたので、**私も色々なことに諦めずやっていきたい**と思いました。

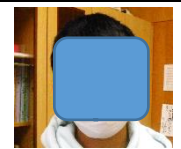
(6年)



→ 学校でしかできない「友だちと話すこと」を大事にして生活していることが伝わってきます。

僕が学校で嬉しいことは、**給食が食べられること**です。理由は、**野菜を1から作ってそれを料理して一人一人が協力してそれを学校でみんなが食べられているから**です。なので学校で嬉しいことは全校が給食を食べられていることです。2つ目は友達です。**友達と喋って笑ったり遊んだりすること**です。

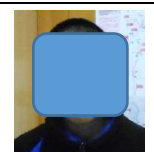
(6年)



→ 出された給食の背後にある一人一人の苦労や協力を感じています。さらに自分だけでなく「全校が・・・」と考えています。

・・・ぼくが学校でうれしいことは、**みんなと学び合いの木を育て、みんなとの絆を深めたり、みんなと運動したい**ことです。ぼくたち6年生は最高の卒業をむかえるために授業で人一倍努力しています。みんなと楽しく授業したり授業に正対したり、みんなと話し合うことで**自分一人ではできなかった体験ができた**りもしますね。それがぼくの学校でうれしいことです。みんなが学校でうれしいことはみんなと成長曲線をぐーんと伸ばしたり、何よりみんなと最高の卒業をむかえるために話し合ったり、授業を一時間一時間がんばったり、休み時間には遊ぶことだと思えます。

(6年)



→ 「最高の卒業をむかえたい」と願い、みんなと過ごせる一日一日を大切にしようとする気持ちが伝わってきます。

感じ方や考え方のちがいにその人らしさやその人の生活の様子が伝わってきます。表現力の高まりも感じます。